

患者向医薬品ガイド

2024年 4月作成

ピヴラッツ点滴静注液 150mg

【この薬は？】

販売名	ピヴラッツ点滴静注液 150mg Pivlaz I.V. Infusion liquid 150mg
一般名	クラゾセンタンナトリウム Clazosentan Sodium
含有量 1バイアル（6mL）中	161.4mg （クラゾセンタンとして150mg）

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。さらに詳しい情報として、PMDAホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、エンドセリン受容体拮抗薬と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、くも膜下出血後の脳の血管を収縮させるエンドセリンという物質の働きを抑えることにより、くも膜下出血術後の合併症として知られる脳血管れん縮とそれに伴う症状の発症を抑制します。
- ・次の目的で、医療機関で使用されます。

脳動脈瘤によるくも膜下出血術後の脳血管攣縮、及びこれに伴う脳梗塞及び脳虚血症状の発症抑制

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- くも膜下出血の重症度、血腫量、脳梗塞の範囲などの患者さんの状態を考慮して、この薬を使用するかどうか医師が判断します。
- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去にピヴラツ点滴静注液に含まれる成分で過敏症のあった人
 - ・妊婦または妊娠している可能性がある人
 - ・肝臓に重い障害がある人
 - ・頭蓋内出血（とうがい（ずがい）ないしゅっけつ）が継続している人
- 次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。
 - ・QT間隔延長（心電図の波形の異常）のある人、QT間隔延長のおそれがある人、過去にQT間隔延長があった人
 - ・脳浮腫または頭蓋内圧上昇のある人
 - ・肺水腫または胸水のある人
 - ・出血している人（眼の硝子体出血や消化管出血などがある人）
 - ・肝臓に障害がある人
 - ・授乳中の人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。
- この薬の使用前に、肝機能検査および血液検査などが行われます。

【この薬の使い方は？】

使用量、使用回数、使用方法等は、あなたの症状などにあわせて、医師が決め、医療機関において注射されます。

この薬は容量型の持続注入ポンプを用いて静脈内に持続投与される注射薬です。

●使用量および回数

通常、成人に使用する量は次のとおりです。

用量	クラゾセンタンとして1時間あたり10mg [バイアル2本300mg（12mL）を500mLの生理食塩液に加えて使用します]
投与速度	1時間あたり17mLの速度で24時間持続投与し、 24時間毎に薬剤を交換します
投与期間	くも膜下出血発症15日目まで*

*くも膜下出血発症から48時間以内を目安に投与を開始します。

中等度の肝機能障害がある人に使用する量は通常の使用量の半量です。

用量	クラゾセンタンとして1時間あたり5 mg [バイアル1本150 mg (6 mL) を500 mLの生理食塩液に加えて使用します]
投与速度	1時間あたり17 mLの速度で24時間持続投与し、 24時間毎に薬剤を交換します
投与期間	くも膜下出血発症15日目まで*

*くも膜下出血発症から48時間以内を目安に投与を開始します。

リファンピシンと併用する場合に使用する量は通常の使用量の4分の1の量です。

用量	クラゾセンタンとして1時間あたり2.5 mg [バイアル1本150 mg を500 mLの生理食塩液に加えて使用します]
投与速度	1時間あたり8.5 mLの速度で24時間持続投与し、 24時間毎に薬剤を交換します
投与期間	くも膜下出血発症15日目まで*

*くも膜下出血発症から48時間以内を目安に投与を開始します。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- 体液貯留（胸水・肺水腫・脳浮腫）の徴候（息苦しい、息をするときゼーゼー鳴る、咳、痰、呼吸がはやくなる、脈がはやくなる、横になるよりすわっているときに呼吸が楽になる、頭痛、めまい、視力の低下など）がみられた場合には、医師に連絡してください。なお、高齢の人では、肺水腫が起こる割合が高いことが報告されています。
- 血圧低下が起こることがあるので、この薬を使用中は血圧測定が行われます。
- ヘモグロビン低下や、肝機能検査値異常があらわれることがあるため、血液検査が行われます。
- QT間隔延長（心電図の波形の異常）があらわれることがあるので、心電図検査が行われることがあります。
- 頭蓋内出血の有無を確認するために、症状とコンピューター断層撮影（CT）による観察が行われます。
- この薬は動物で催奇形性（胎児に奇形を生じる可能性）が報告されています。妊娠する可能性のある人は、この薬を使用した後一定期間は適切な避妊法で避妊してください。
- 授乳している人は医師に相談してください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。

副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。


このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
体液貯留 たいえきちよりゅう	むくみ、体重の増加、息苦しい、息切れ、疲れやすい、食欲不振
胸水 きょうすい	息苦しい、息切れ、咳、胸の痛み
肺水腫 はいすいしゅ	息苦しい、息をするときゼーゼー鳴る、咳、痰、呼吸がはやくなる、脈がはやくなる、横になるより座っているときに呼吸が楽になる
脳浮腫 のうふしゅ	めまい、頭痛、意識の低下、視力の低下、深く大きい呼吸、手足のふるえ、精神の混乱
頭蓋内出血 とうがい（ずがい）ないしゅっけつ	突然の意識の低下、突然の意識の消失、突然の頭痛、突然のめまい、突然の嘔吐、突然しゃべりにくくなる、突然言葉が出にくくなる、突然片側の手足が動かしくくなる
硬膜外血腫 こうまくがいけっしゅ	突然の意識の低下、突然の意識の消失、突然の頭痛、突然のめまい、突然の嘔吐、突然しゃべりにくくなる、突然言葉が出にくくなる、突然片側の手足が動かしくくなる

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	むくみ、体重の増加、疲れやすい
頭部	めまい、突然のめまい、頭痛、突然の頭痛、意識の低下、突然の意識の低下、突然の意識の消失、精神の混乱
眼	視力の低下
口や喉	咳、痰、突然の嘔吐、突然しゃべりにくくなる、突然言葉が出にくくなる
胸部	息苦しい、息切れ、胸の痛み、息をするときゼーゼー鳴る、呼吸がはやくなる、横になるより座っているときに呼吸が楽になる、深く大きい呼吸
腹部	食欲不振
手・足	手足のふるえ、突然片側の手足が動かしくくなる、脈がはやくなる

【この薬の形は？】

販売名	ピヴラッツ点滴静注液 150mg
性状	無色の澄明な液
形状	1バイアル（6mL） 

【この薬に含まれているのは？】

販売名	ピヴラッツ点滴静注液
有効成分	クラゾセンタンナトリウム
添加物	トロメタモール、エデト酸ナトリウム水和物、塩化ナトリウム、塩酸、注射用水

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：ネクセラファーマージャパン株式会社

メディカルアフェアーズ本部D Iセンター

電話：0120-664-553

受付時間：9時00分～17時00分

（土・日・祝日・当社休業日を除く）